

インスタQRコード



うみかぜ 海風



14 海の豊かさを
守ろう



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



御前崎港管理事務所だより180号(R6.12)



御前崎港「命を育むみなとのブルーインフラ拡大プロジェクト」

11月26日(火)、日ごろ港内で活動する官民各種団体約60名により、御前崎港「命を育むみなとのブルーインフラ拡大プロジェクト」として、昨年に引き続き御前崎港海岸の西端にある「久々生・新庄(くびしょう・しんしょう)地区」の海岸清掃を行い、大量の漂着流木やプラスチックゴミ等を集積・処分しました。

この地区には、大気中の二酸化炭素(CO2)を吸収するブルーカーボンとしても注目され、本県指定の準絶滅危惧種である「コアマモ」が自生し、さまざまな生物を育む「海のゆりかご」を形成しております。

参加団体：NPO法人Earth Communication(港湾協力団体)、御前崎港湾建設工事安全協議会、御前崎市、牧之原市、国土交通省清水港湾事務所、静岡県御前崎港管理事務所



清掃作業の様子
(久々生地区)



清掃作業の様子
(新庄地区)



参加者全員で記念撮影

建設発生土の適正処理について官民連携での取組み



地域部会の様子
(12/12島田土木事務所)

静岡県では、建設発生土の処理における現状と課題について、産官関係者が共通認識を持つことで、地域の実情に応じて最適な建設発生土の処理を目指すため、「みらいの県土研究会」を令和5年2月に設立しました。

そのうち、関係者の情報共有の場となる「地域部会」が、12月9日(月)に袋井、12日(木)に島田の各土木事務所にて開催されました。各土木事務所管内の官民関係団体(県、市、建設業協会、発生土処理業者、砕石業協同組合など)の代表者が一堂に会し、建設発生土処理の状況・問題点に関し、積極的な意見交換を行いました。

温水除草の実証実験を行ってます！

御前崎港管理事務所では、(株)特殊東海フォレストとケルヒージャパン(株)の協力の下、温水による除草効果の実証実験を行っております。場所は事務所敷地内の雑草が繁茂している区画を使用しています。



温水散布作業の様子

可搬式の噴霧機械により、雑草に熱湯を散布し、日施工量の算出、草の枯れ具合及び繁茂抑制効果を経過観察しております。実験の様子は事務所Instagramでも確認できます。

エコパークの花紹介

サザンカ(山茶花/ツバキ科ツバキ属)



サザンカの花が咲き始め、冬の少し寂しくなった園内に紅色の彩りを添えています。サザンカとツバキの花は色も形もよく似ておりますが、ツバキよりも開花時期が早く、晩秋から初冬にかけて咲き、花はやや小振りであります。ヨーロッパやアメリカでも庭木や生垣に利用され、童謡や歌によく使われる、人との関わりの深い花であります。

御前崎港の見学を御希望の方は、お気軽に管理事務所まで御連絡ください。皆様のお越しをお待ちしております。

連絡先：御前崎港管理事務所企画振興課 〒437-1623 御前崎市港6170-1
電話：0548-63-3213 FAX：0548-63-2173 メールアドレス：omaezaki-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp
ホームページ：http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/omaezaki



いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県交通基盤部